

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年3月14日 (2013.3.14)

【公表番号】特表2011-510710(P2011-510710A)

【公表日】平成23年4月7日 (2011.4.7)

【年通号数】公開・登録公報2011-014

【出願番号】特願2010-544473(P2010-544473)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/00 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月26日 (2012.1.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つの薬剤を標的部位に適用するためのアプリケーション装置であって、
剛性部分であって、該剛性部分は、該剛性部分を通る流体の通過のために構成され、該
剛性部分は、近位端部分と遠位端部分とを有し、該近位端部分は少なくとも 1 つの流体貯
蔵部との連絡のために構成される、剛性部分と、

該剛性部分の該遠位端部分に取り付けられた形成可能部分であって、該形成可能部分は
所望の構成に成形されるように構成され、該形成可能部分は少なくとも 1 つの管腔を含み
、該少なくとも 1 つの管腔は、該剛性部分から流体を受容するように構成される、形成可
能部分と、

該形成可能部分内に配置される少なくとも 2 つの展性部材であって、該少なくとも 2 つ
の展性部材は、該形成可能部分に対して、少なくとも 1 つの屈曲方向および少なくとも 1
つの拘束方向を形成し、該少なくとも 2 つの展性部材は、該所望の構成で該形成可能部分
を保持することを支援するように構成される、少なくとも 2 つの展性部材と
を備える、装置。

【請求項 2】

前記少なくとも 2 つの展性部材は、それぞれ、前記形成可能部分を通して形成された展
性部材の管腔内に配置される、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記少なくとも 2 つの展性部材は、(i) 前記形成可能部分が形成された後に前記展性
部材の管腔内に配置されるか、または、(i i) 該形成可能部分が該展性部材を越えて押
し出される、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記少なくとも 2 つの展性部材は、それぞれ、ワイヤである、正方形の断面形状を有す
る、および金属でできている、から成る群より選択される、少なくとも 1 つの特徴を有す
る、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

前記形成可能部分は、前記剛性部分に解放可能に接続される、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 6】

前記剛性部分は、該剛性部分を通して延在する剛性部分の管腔と、該剛性部分の管腔を

通って延在する第 1 の流体導管および第 2 の流体導管とを含み、該第 1 の流体導管は、第 1 の流体貯蔵部と連絡するように構成され、該第 2 の流体導管は、第 2 の流体貯蔵部と連絡するように構成される、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 7】

前記形成可能部分の前記少なくとも 1 つの管腔は、前記第 1 の導管および前記第 2 の導管と連絡している、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 8】

前記形成可能部分の遠位端に位置するアプリケーション先端を含み、該アプリケーション先端は、該形成可能部分から流体を受容し、該流体を標的部位に適用するように構成される、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 9】

前記アプリケーション先端は、(i) 前記形成可能部分に解放可能に取り付けられる、(i i) 該形成可能部分の前記少なくとも 1 つの管腔から流体を受容し、混合するように構成される、(i i i) 該形成可能部分に溶接される、(i v) 前記展性部材を露出するように該形成可能部分のチューブを圧縮し、該展性部材をクリンプし、該チューブがクリンプされた該展性部材を越えて延在するように該チューブを引き伸ばすことによって、形成される、および(v) 複数のアプリケーション装置を積み重ねることができるように、前記剛性部分の前記近位端部分と密閉して噛合するよう形成される、のうちの少なくとも 1 つである、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 10】

前記形成可能部分は、3 つの展性部材を含み、該 3 つの展性部材のうちの 2 つは、互いから約 180 度離れている、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 11】

前記少なくとも 2 つの展性部材のうちの 2 つは、互いから約 180 度離れている、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 12】

前記形成可能部分は、前記剛性部分から流体を受容するように構成された 1 つの管腔を含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 13】

前記剛性部分は、該剛性部分から外方向に延在する一对の固着フランジを含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 14】

前記展性部材は、前記一对の固着フランジと同一平面または平行平面内に配置される、請求項 13 に記載の装置。